

チェックポイント

- ☐ 【1】エアコン専用のコンセント
- ☐ 【2】分電盤（アンペアブレーカー/安全ブレーカー）
- ☐ 【3】室内ユニットの設置場所スペース
- ☐ 【4】室外ユニットの設置場所スペース
- ☐ 【5】埋設配管（先行配管/隠ぺい配管）かどうか
- ☐ 【6】設置するエアコンに換気（加湿）機能があるか

【1】エアコン専用のコンセント



エアコンは消費電力が大きいため、当店では専用の回路・コンセントへの設置を行っております。

室内ユニット（室内機）設置場所の付近に専用のコンセントがない場合には回路増設が必要になります。

増設ができない場合を含み、一般の家庭用コンセントや延長コードへの設置は安全上お断りしております。

※各メーカーや「内線規程（一般社団法人日本電気協会発行）」でも、エアコン専用コンセントへ接続することとされています。

また、機種によって電圧やコンセントプラグの形状が決まっておりますので、機種に合わせて電圧の切替工事（オプション）や、コンセント形状の交換（オプション）作業などが必要です。

【エアコン専用回路・コンセントをご確認ください】

①室内機付近にエアコン用のコンセントがあるかを確認

- エアコンの右側からコードを出す場合、届く範囲は120cm程度、エアコンの左側からコードを出す場合、届く範囲は50cm程度となります。コードが届かない場合は、コンセント延長工事が必要となります。
- 延長コードなどを利用したの設置は承っておりません。
- 電気が通っていない場合、試運転などができない為、日を改めさせていただく場合がございます。
- コンセントがない場合、室外電源タイプである場合がございます。

《ご注意ください》

設置場所に専用回路がない場合は、エアコン専用回路工事（電気工事）が必要です。

②コンセント差込口の形状を確認

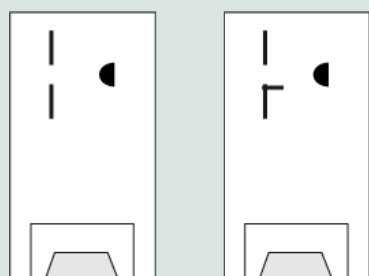
下記例を参照いただきますようお願いいたします。

該当するものがない場合は、ご注文前にお問い合わせいただくか事前下見をご利用ください。

単相100V（例）



単相200V（例）

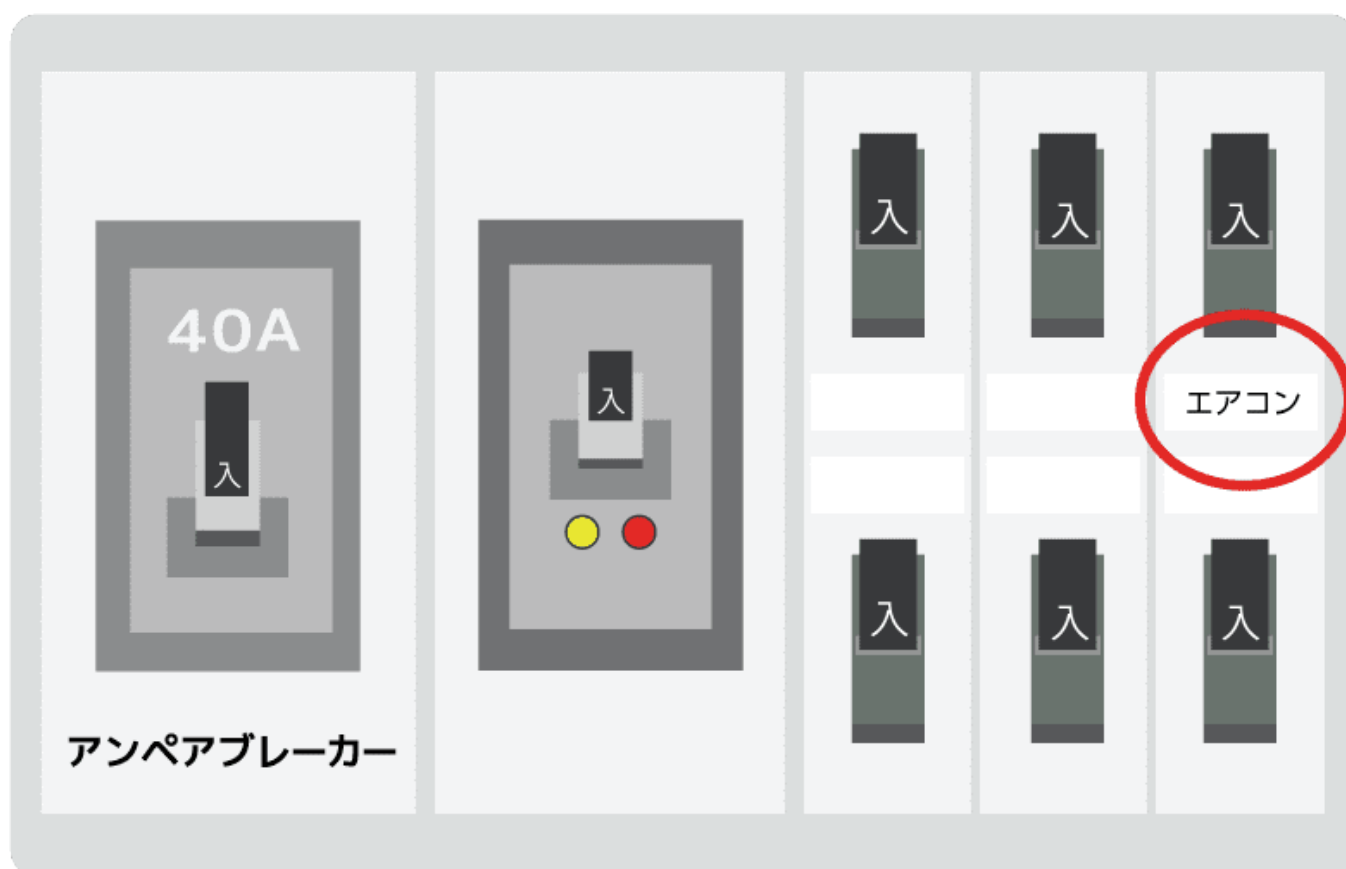


【2】分電盤・ブレーカーをご確認ください

ご家庭に単相200Vの引き込みがない場合、200Vのエアコンはご使用いただけません。
確認方法は以下の通りです。ご不明な場合は、契約電力会社や建物管理会社にご相談ください。

【分岐ブレーカー（配線用遮断器）を確認】

- ①ブレーカーの名称記入欄に『エアコン（部屋）』と書かれている
または空きがあるかを確認。

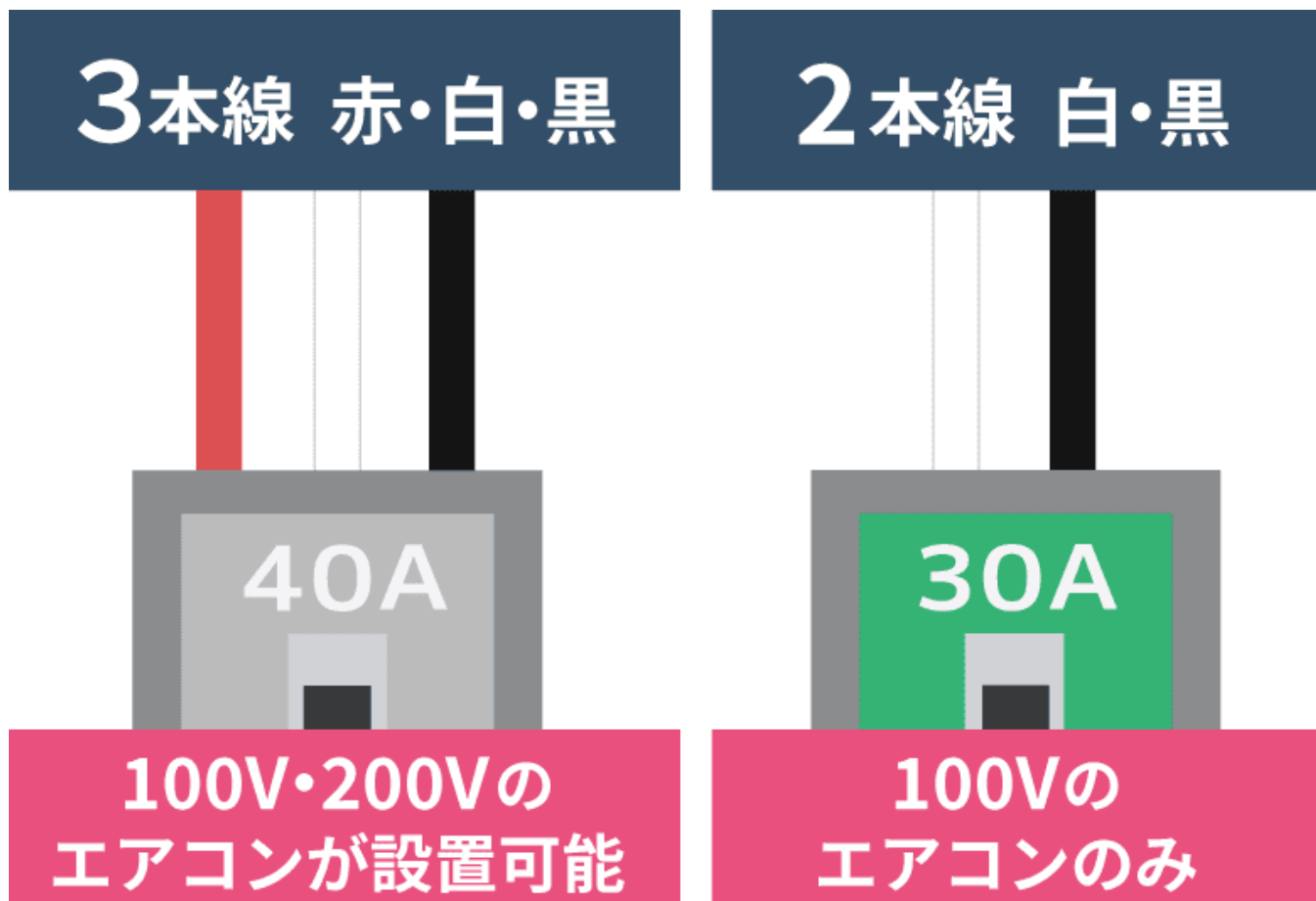


②分電盤カバーを開けられる場合は、アンペアブレーカーに接続されている導線の本数を確認

2本（白・黒）の場合、100Vの引き込みです。200Vのエアコンは設置できません。

3本（赤・白・黒）の場合、200Vの引き込みです。

電圧切替等の工事を行うことで100Vまたは200Vどちらも設置が可能です。

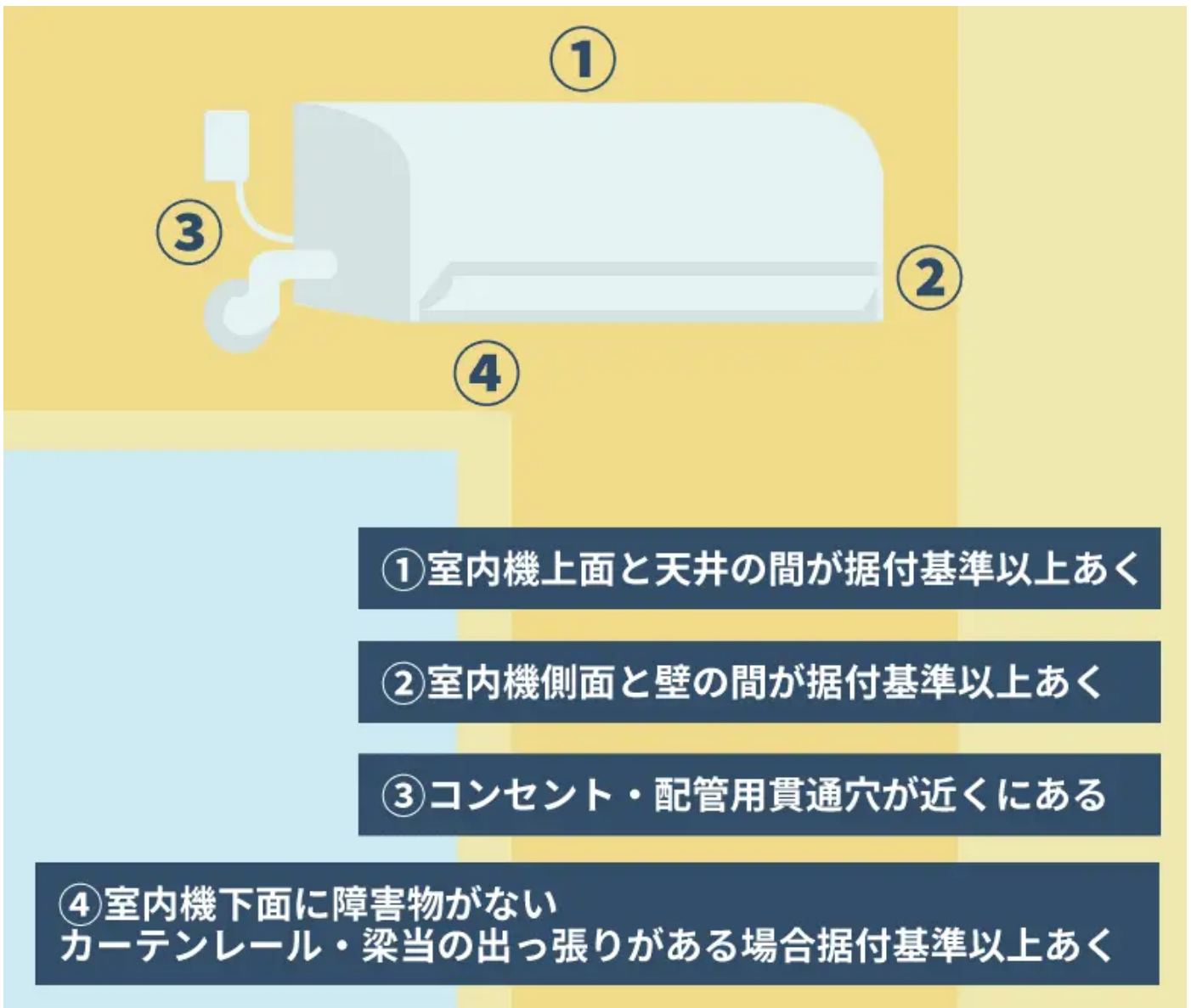


【3】室内機の設置場所スペースをご確認ください。

効率のよい運転と点検・修理のために、**一般的な機種で、天井から最低5cm以上、左右の壁から最低5cm以上のスペースが必要です。**

またカーテンレールなどの上に取り付けの際は、送風口のフラップが可動する範囲の確保も必要です。

※メーカーや機種により、異なるため事前に仕様等をご確認ください。



【4】 室外機の設置場所スペースをご確認ください。

一般的に、背面5cm、左右10cm、正面20cm以上のスペースが必要です。

メーカーにより異なりますが、室外機のサイズ目安としては、高さ約55cm×横幅約80cm×奥行き約30cmです。

できるだけエアコン(室内機)に近い屋外に余裕をもたせた設置スペースがあるかどうか、また、室内機の据付に十分なスペースがあることも一緒にご確認ください。



《ご注意ください》

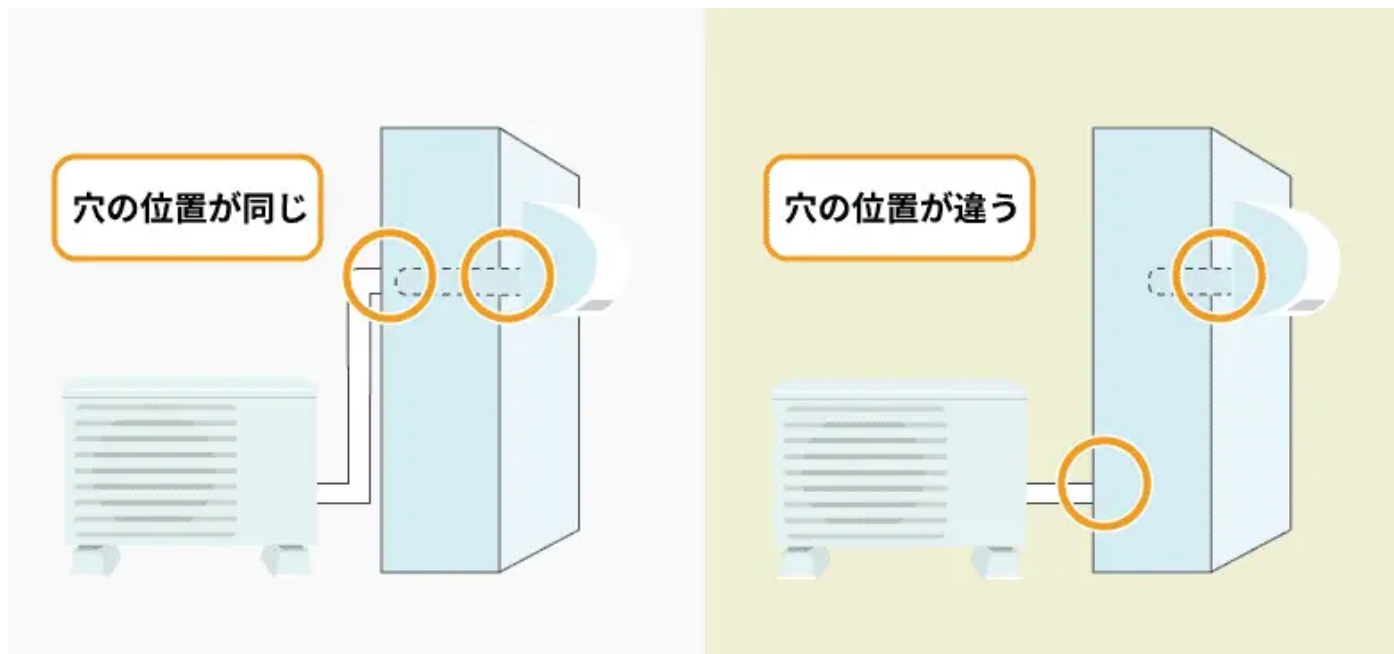
エアコン室外機の正面に障害物は置かないでください。(故障の原因になります)

積雪の多い地域や室外機ご使用環境が -0°C ～ -10°C 以下になる場合、「寒冷地仕様」のエアコンご購入をお勧めいたします。

詳細につきましては各メーカーまでご相談ください。

【5】 埋設配管(先行配管・隠蔽配管)かどうかをご確認ください。

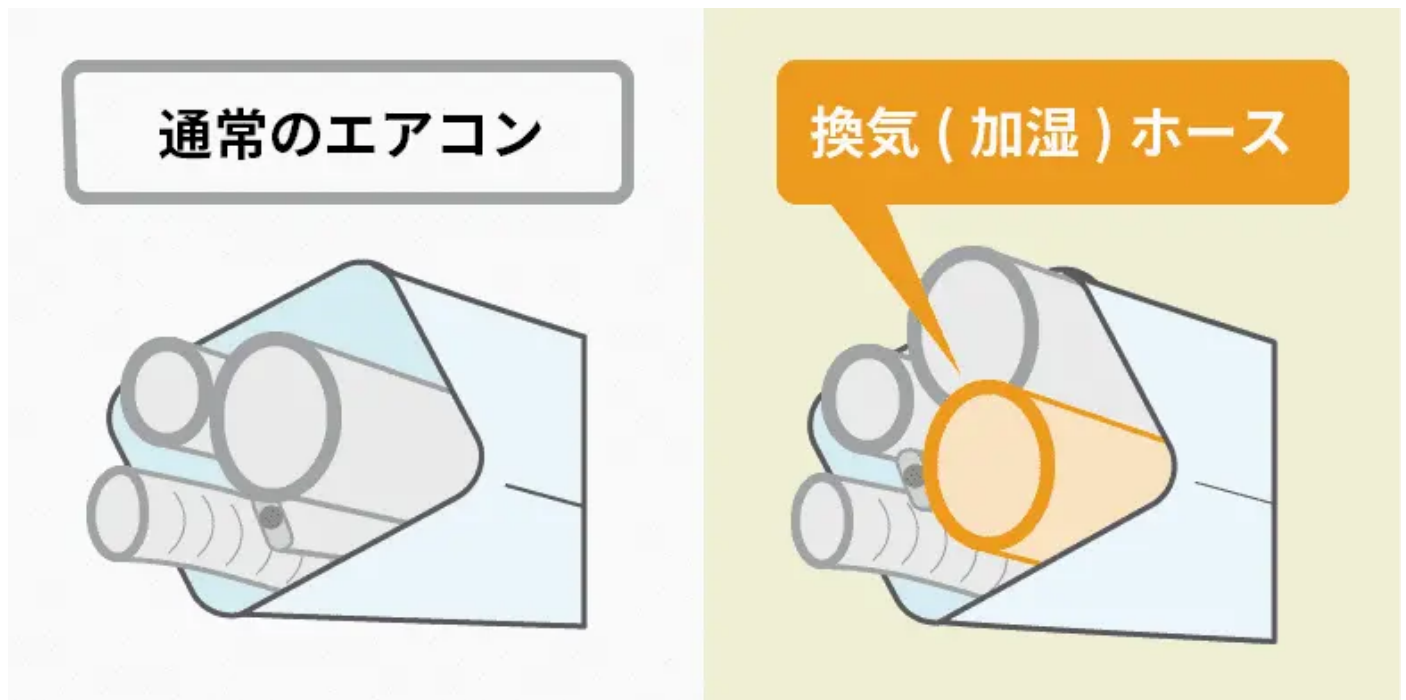
壁中や天井裏などに埋設された配管(先行配管・隠蔽配管)の場合、換気(加湿など)ホース付きのエアコンは取り付けが出来ない場合があります。壁の中だけでなくクローゼット内や天井裏なども含め、配管を隠蔽とする際に隠蔽配管作業となる場合がございます。また、取付状況によっては高額な追加費用が発生する場合がありますので、事前下見をお勧めします。



上図の右のように、部屋の内外で配管穴の位置が異なる場合は「隠蔽配管」の可能性あります。また、部屋の内外にすでに配管が出ている場合は「先行配管」の可能性あります。

【6】 設置エアコンのタイプをご確認ください。

下図のように、換気(加湿などの)機能の付いたエアコンは、通常の冷媒配管(ドレン・電線)以外に換気(加湿などの)付属ホースも屋内から屋外へ通さなければなりません。



先行配管の場合には、あとからホースを通すことができないため、基本的には取り付けができません。

別に穴を開けることにより取り付けができる場合があります。

隠蔽配管の場合でも、配管を通すスペースが狭いと取り付けができない場合があります。

また、部屋またぎなど埋め込む長さが長くなる場合にも、換気(加湿などの)ホースの許容範囲を超えると取り付けできないことがあります。

※後から配管を通すことができないつくりですと取り付けができません。貫通穴径（スリーブ内径）がφ65mm以上必要です。

また、換気ホースや加湿ホースはメーカーにより異なります。

商品に同梱されていますが、同梱のホースの長さより延長が必要な場合は、別途ホースの購入が必要です。

ご要望のお客様は、設置工事のご相談の際に、オペレーターにお申し付けください。

換気／加湿ホースが長くなると、機能が若干低下しますことをあらかじめご了承ください。